

学びの森だより

7月8月

令和8年8月18日発行
裾野市教育支援センター
学びの森



連日の猛暑の中、この夏は3つの研修会を開催し、多くの先生方にお集まりいただきました。参加者同士の交流も生まれ、学びの多い有意義な時間となりました。研修会の様子を報告します。

講話

「特別支援から『カイ特別支援』へ」

※下図参照

30年前と比べると、「特別支援教育」を取り巻く考え方や支援の在り方は大きく変化しています。

この夏、市内の支援員等を対象に、子供一人一人の特性理解を深め支援に生かすことを目的とした「市支援員等研修会」と、学級担任として通級指導教室との連携に理解を深め、指導力の向上を図ることを目的とした「2・3年目教員研修会&昼カフェ」を開催しました。

研修会では、西中学校の実践をもとに、子供の気持ちに寄り添いながら、一人一人のニーズに応じた支援をどのように形にしているのか、紹介していただきました。

西中の特別支援教育

カイ
皆

本年度の目標

UP DATE

～特別支援から カイ特別支援へ～

カイ
改題

カイ
理解

カイ
快適



参加者の感想より

グループワークでは、参加者同士が日頃の悩みや工夫を共有しながら、自身の課題や今後の支援について考えを深める様子が見られました。学級にはさまざまな個性や特性がある子供たちがいます。子供たちの「困り感」に寄り添いながら、学級担任・支援員・SSR・通級担当の連携を深め、それぞれの立場から支援を繋げていくことが大切です。今回の学びが、2学期以降の支援や指導に生かされることを期待します。

・自分の行っていた支援が、まだまだ大人主体な考えが強かったことを反省しました。子供の気持ちを受け止め、もやもやを解消し、自分から考える力を引き出せる支援ができるよう、心がけたいと思いました。（市支援員等研修会 支援員）

・見取りの視点、支援の方法など、自分がまず学ぶ必要があると感じました。また、子供たちが成功体験をたくさん積むために、その子に届く言葉を選び、頻度、場面も自分で考えながら実行すべきだと考えました。インプットとアウトプットを繰り返して、児童理解と知識を身につけていきたいと思いました。（2・3年目研 小学校担任）

・先生方が日々の授業や子供たちとの関わりの中で悩んでいること、困っていることがあることを改めて感じました。通級担当の先生に会えない、忙しそうで話しかけると悪い、という声を聞いたので、もっともっとウエルカムな姿勢をアピールしていかなければと思いました。多様性理解教育を裾野市全体でも進めていきたいです。（2・3年目研 通級）

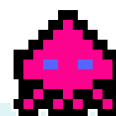
いろんなタイプ





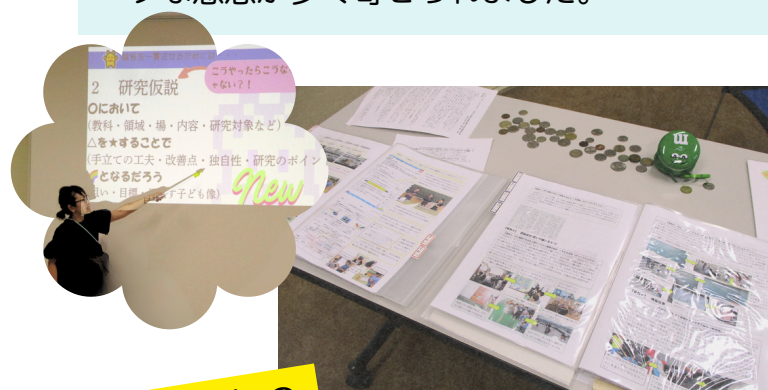
昼カフェ

「教育論文の書き方」講座



「教育論文」と聞くと「逃れられない大変な作業」と身構えてしまいそうですが、海外での豊富な生活経験など幅広い視点をもつ関口先生の講座は、エネルギーで終始テンポよく、論文を書くメリットや、論旨を一貫させるコツを学ぶだけでなく、「自分が教育で大切にしてきたものは何か」を改めて見つめ直し、それが論文になる！と気付く、学びと発見にあふれるひと時となりました。

参加者からは、「自分の教育観を大切にしながら資料を集めていくことの大切さを感じることができ、前向きな気持ちになりました。」「せっかく書かなら自分のスキルアップに繋がるように取り組んでいきたい」といったポジティブな感想が多く寄せられました。



学びの森からの
お知らせ

2学期の勤務先



月曜日

荒井指導員：富一小
渡邊指導員：西 中
照井指導員：深良小

9/24
(木)

荒井指導員：深良中
渡邊指導員：西 中
照井指導員：東 中

※10/13(火)、11/24(火) 月曜拠点校

上記以外は、鈴木図書館2階
学びの森を拠点とします。

編集・発行

裾野市教育支援センター

学びの森

〒410-1127

裾野市平松495 鈴木図書館2階

☎ 1 : 080-3275-6655

(月曜は15:15まで)

☎ 2 : 080-7004-3818

✉ manabi@ms.susono.ed.jp



© 裾野市